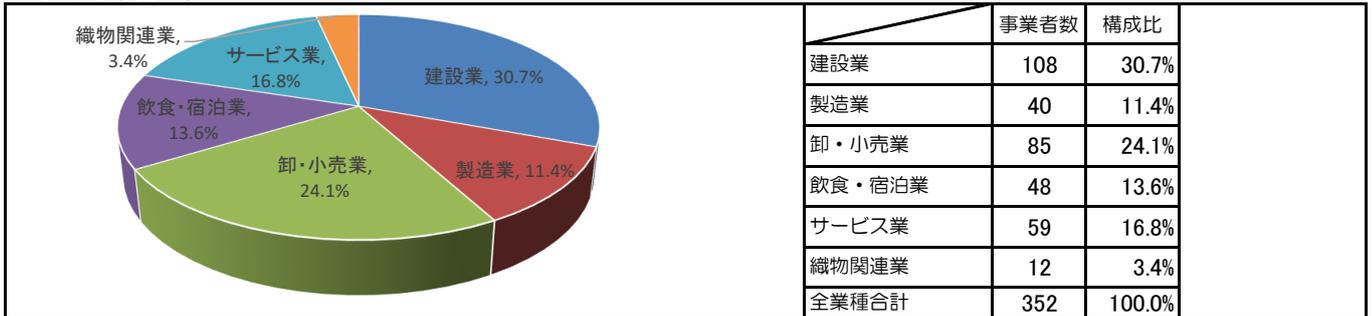


十日町市地域 企業景況調査 第4四半期報告書 (R6.1.1~R6.3.31) 会議所地区

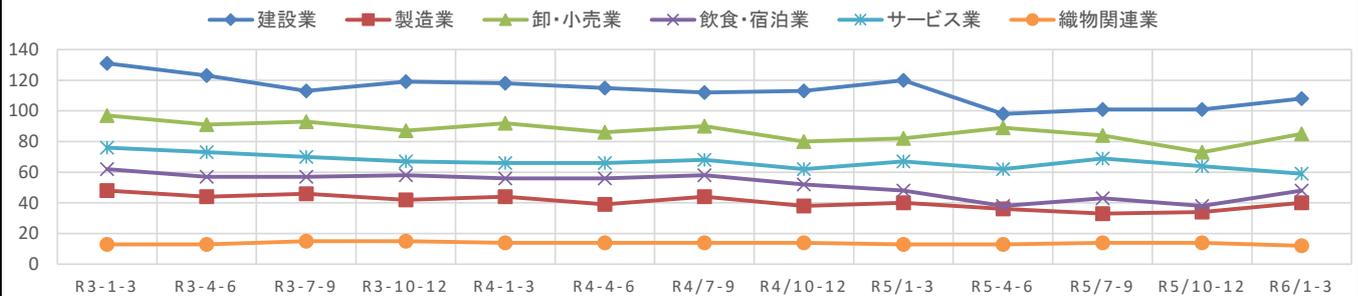
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

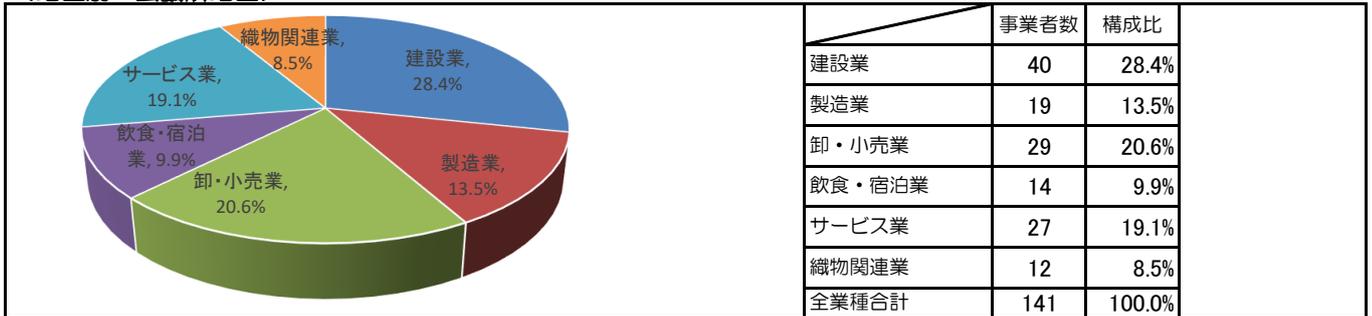


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

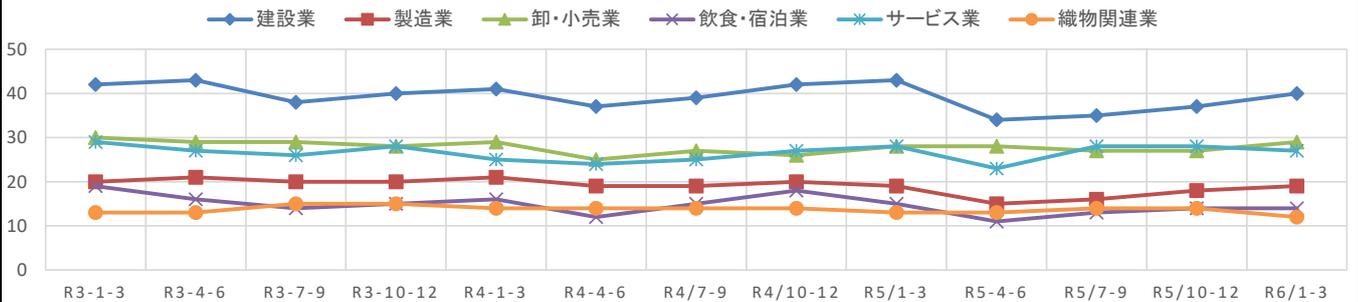


<コメント> 今回の調査は、十日町市内352事業所から回答を得られた。前回調査よりも28事業者増加し、業種別に見ると建設業、製造業、卸・小売業、飲食・宿泊業の回答数が増加した。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



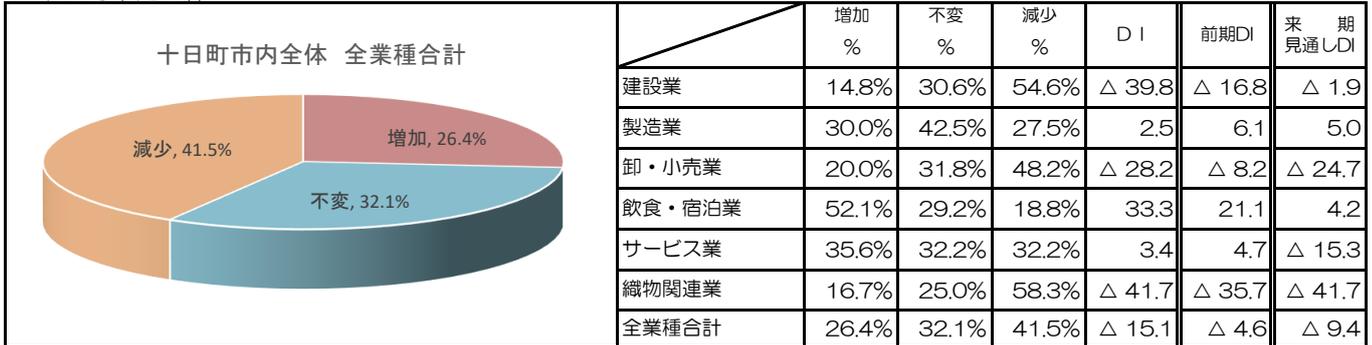
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、依頼先183事業所のうち141事業所からの回答があり、回収率は77.0%と前回に比べ1.6%増加した(前回:回答事業所138事業所、回収率75.4%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

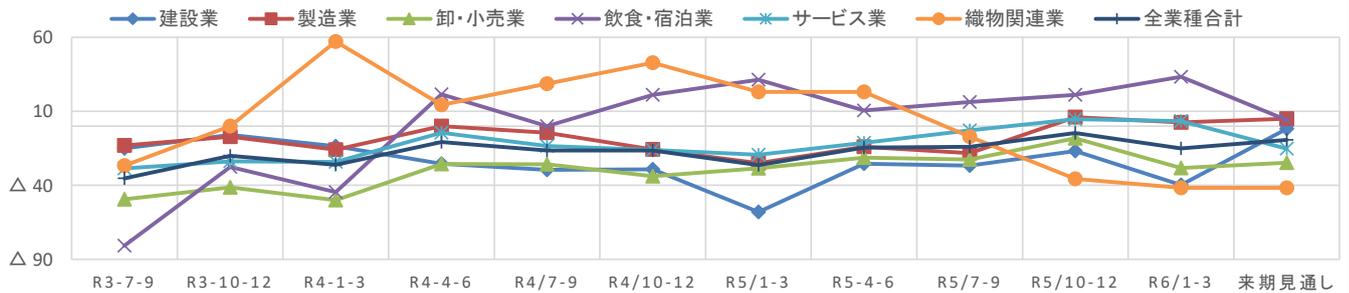
1. 売上について

- ・1月～3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

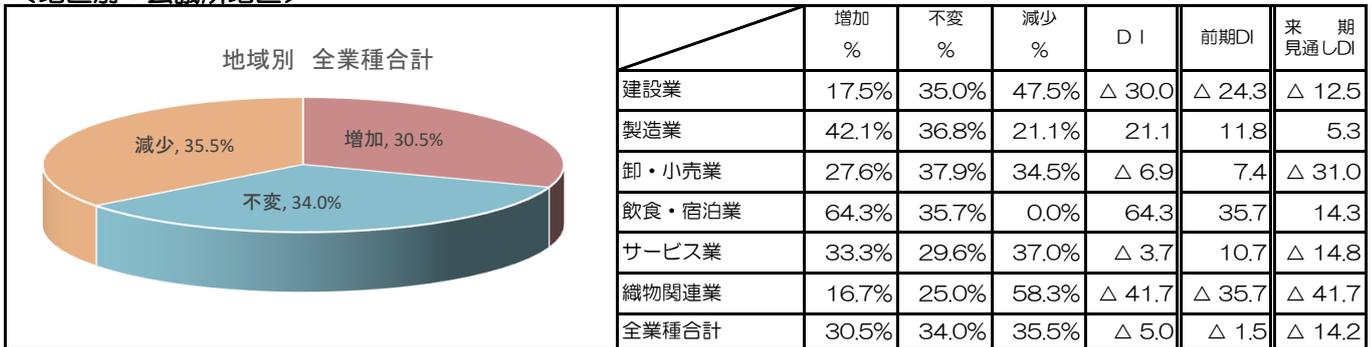


業種別売上の推移（市内全体）

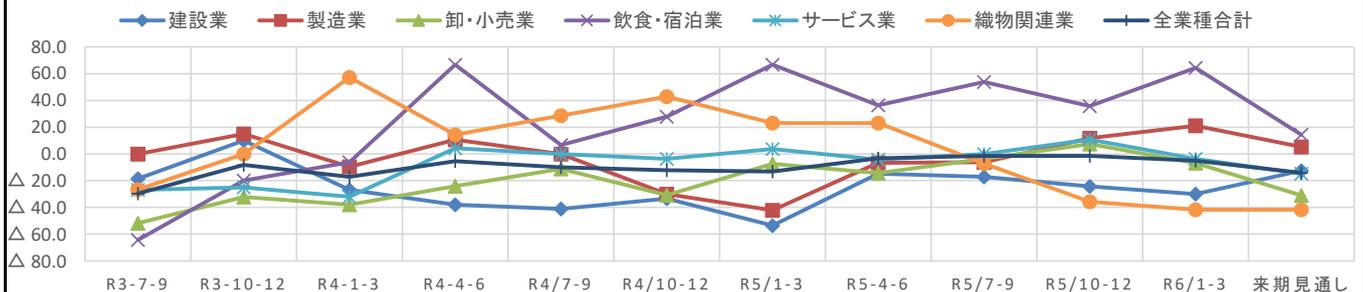


<コメント>十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△15.1ポイントで、前回調査時よりも10.5ポイント減少となった。飲食・宿泊業ではDI値が上昇したが、それ以外の業種では減少した。来期については、飲食・宿泊業とサービス業においてDI値が減少する見通しである。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移（地区別）

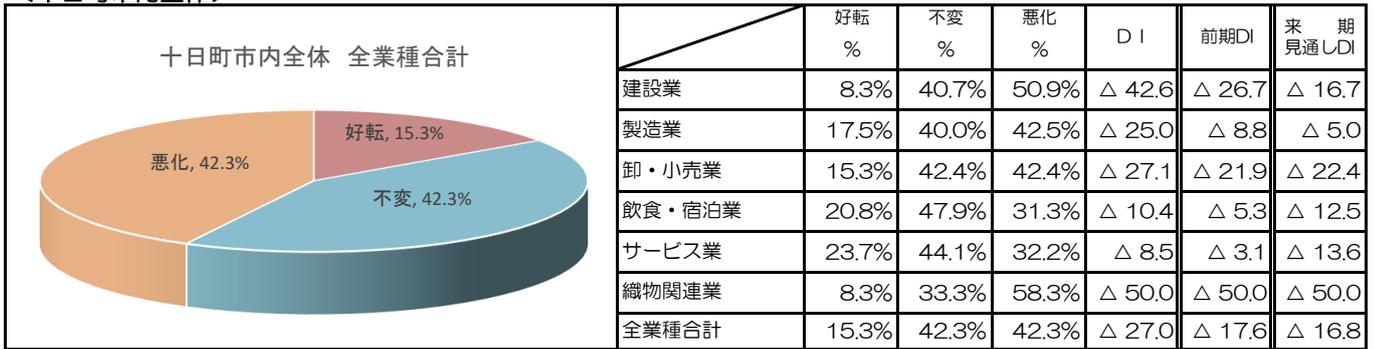


<コメント>会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△5.0ポイントで、前回調査時よりも3.5ポイント減少した。業種別に見ると、製造業と飲食・宿泊業が増加し、その他の業種は減少となった。来期見通しは、織物関連業は横ばい、建設業は増加予測となり、その他の業種は減少の見通し、全業種DI値においても減少の見通しである。

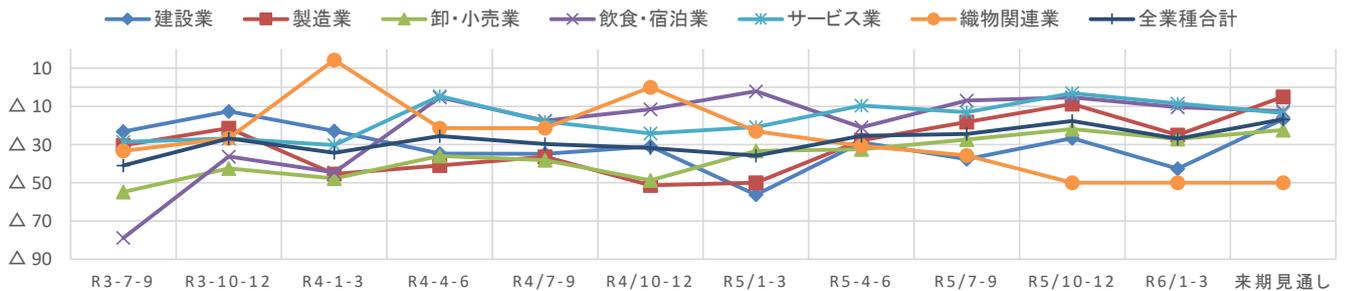
2. 採算について

- ・ 1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

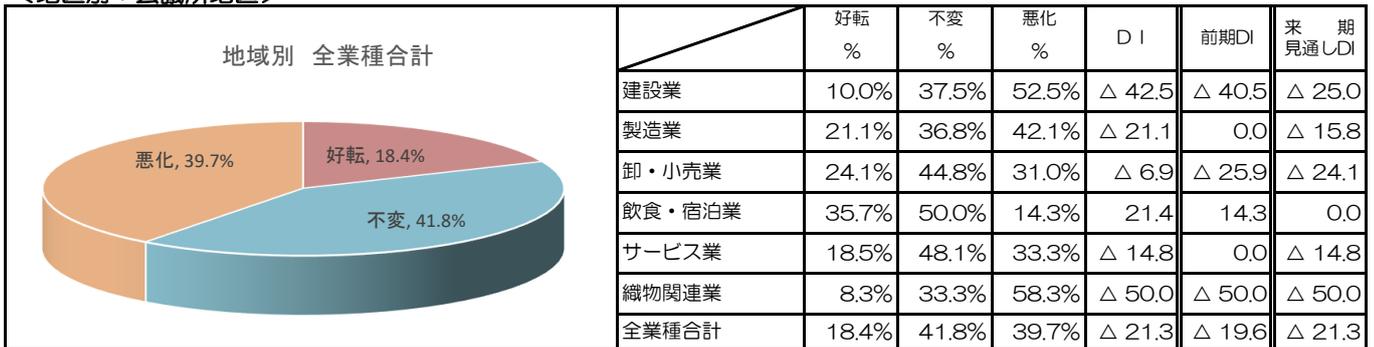


業種別採算の推移(市内全体)

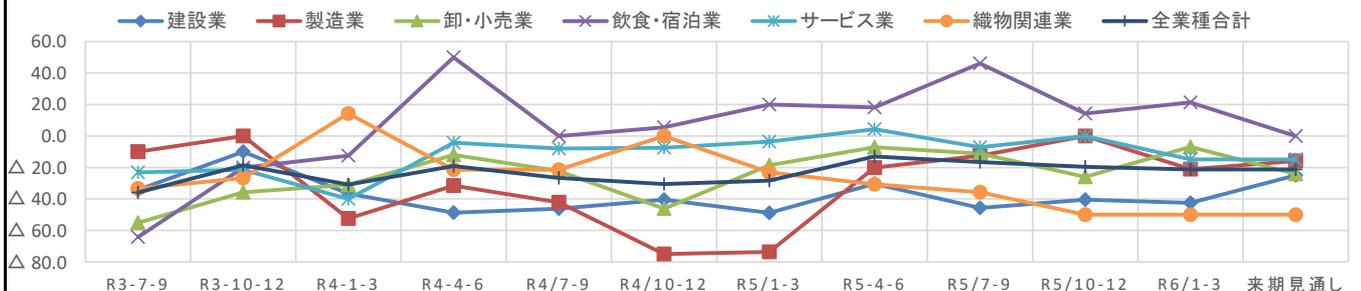


<コメント>十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△27.0ポイントで、前回調査より9.4ポイント悪化している。全業種で悪化となった。来期見通しでは、飲食・宿泊業とサービス業においてDI値が悪化する見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別採算の推移(地区別)

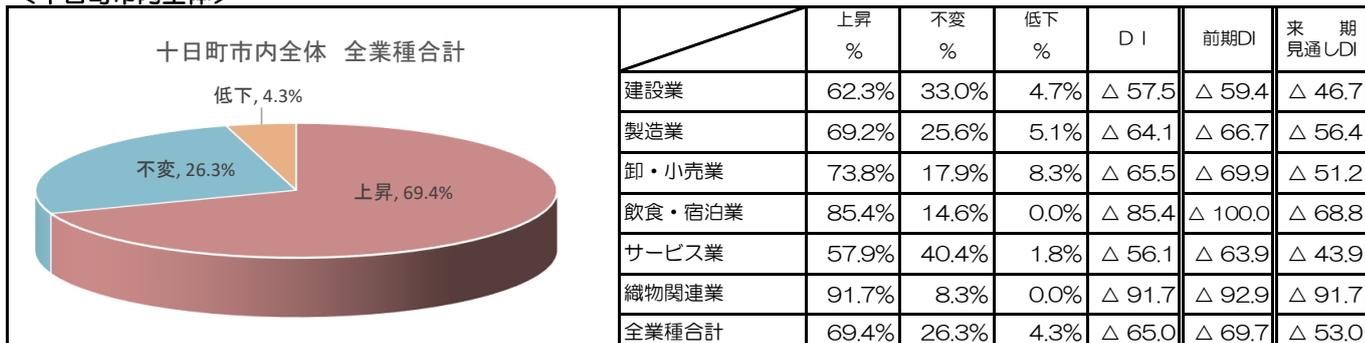


<コメント>会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△21.3ポイントで、前回調査時よりも1.7ポイント悪化している。業種別では織物関連業が横ばい、卸・小売業と飲食・宿泊業が好転しているが、その他の業種は悪化した。来期見通しでは、織物関連業とサービス業は横ばい、建設業と製造業が好転予測、その他の業種は悪化予測となっており、全業種においては今期と同水準の見通しとなっている。

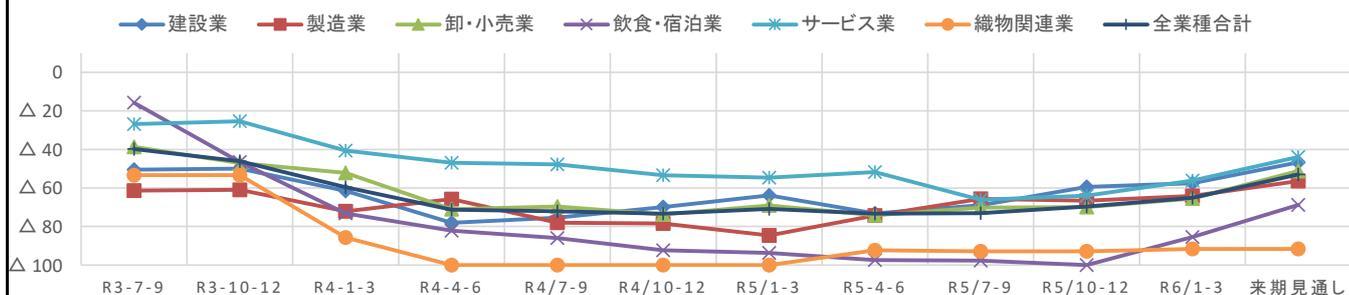
3. 仕入単価について

- ・ 1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

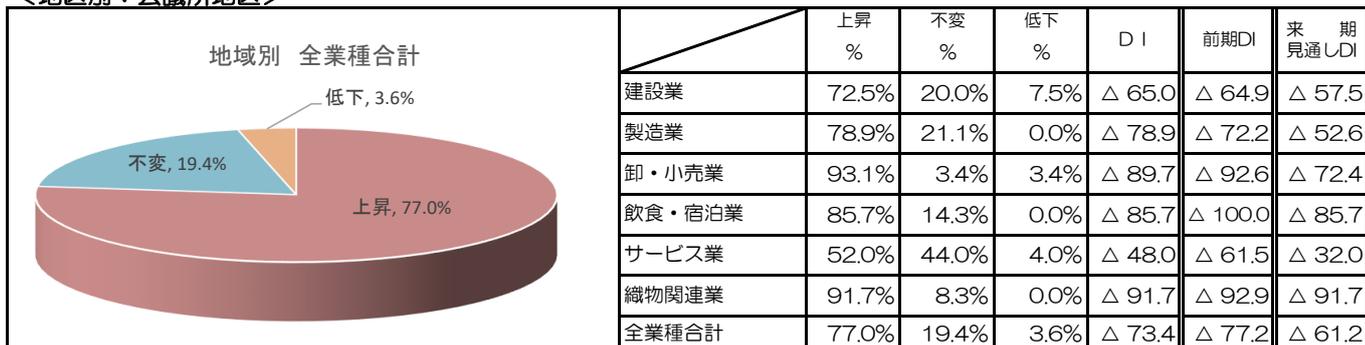


業種別仕入単価の推移(市内全体)

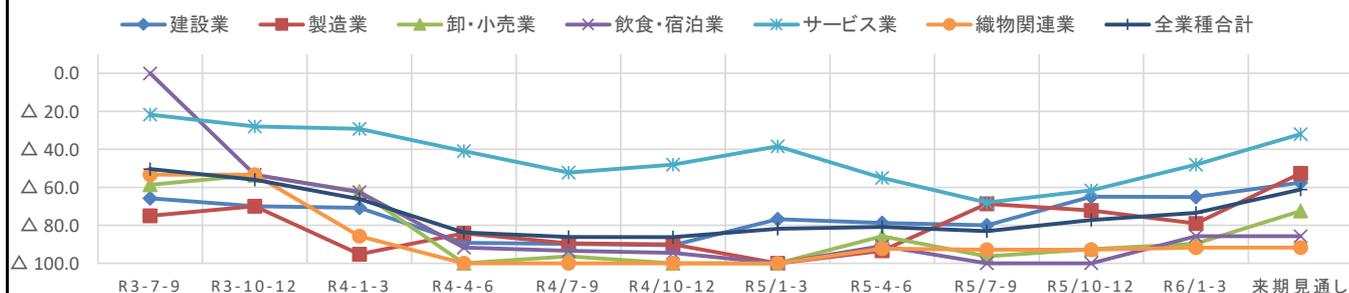


<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△65.0ポイントで、前回調査時よりも4.7ポイントの仕入単価低下が見受けられる。来期見通しは、全業種で今期よりも仕入単価が低下する見通しである。

<地区別：会議所地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

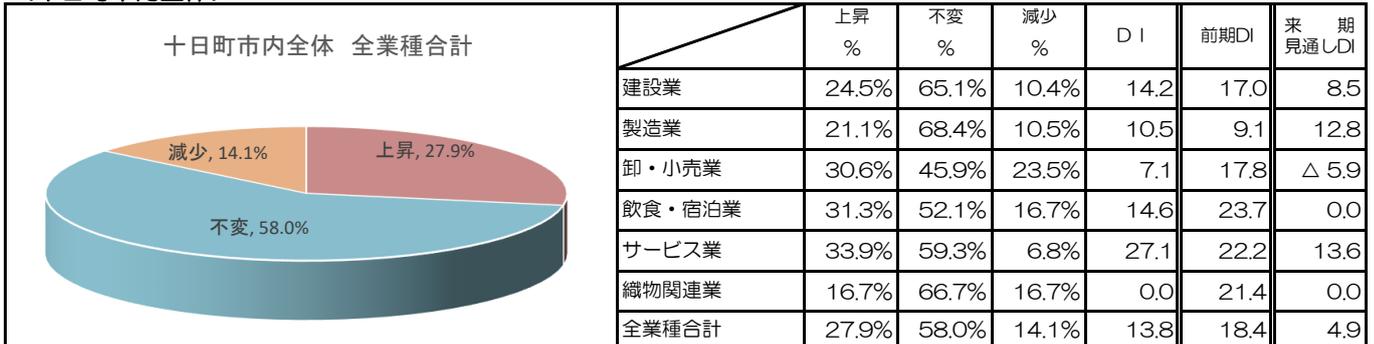


<コメント>会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△73.4ポイントで、前回調査時よりも3.8ポイント仕入単価低下となった。業種別DI値でも、製造業と建築業以外は仕入単価低下がやや増加したものの、仕入単価上昇とする回答割合は依然として多い。来期見通しでは飲食・宿泊業と織物関連業は横ばいの予測だが、その他の業種は仕入単価低下の予測となり、全業種DI値でも仕入単価低下の見通しとなっている。

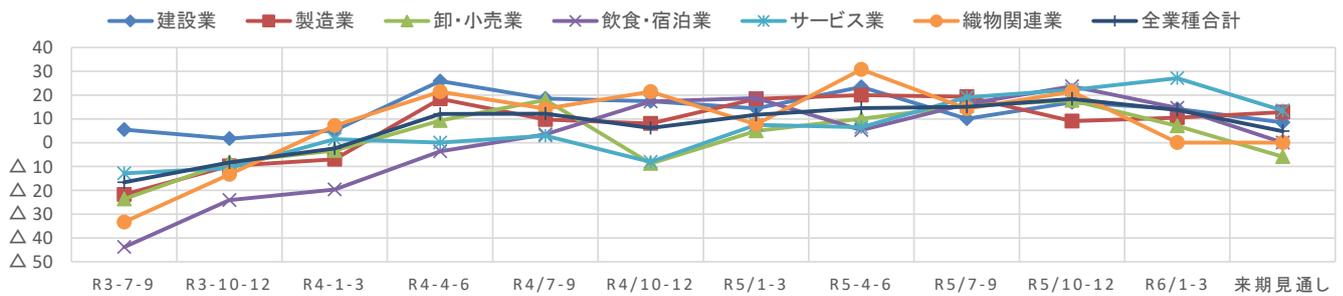
4. 販売（客）単価について

- ・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

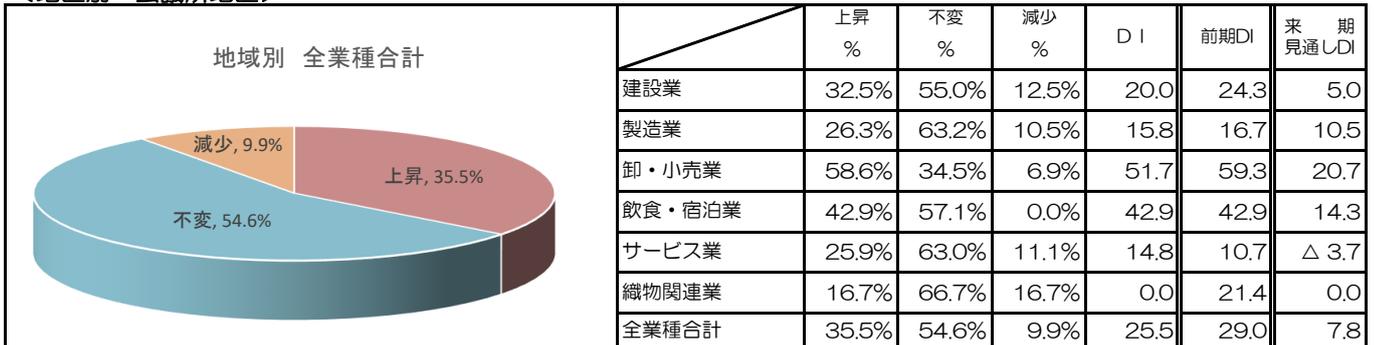


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

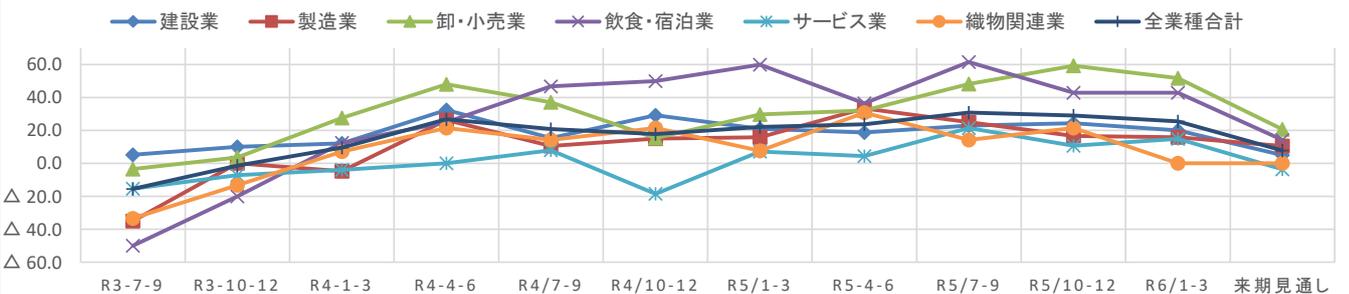


<コメント>十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で13.8ポイント、前回調査時より4.6ポイント減少している。サービス業のみ上昇したが、それ以外の業種では減少となった。来期については、全業種で大幅な低下予測となっている。

<地区別：会議所地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

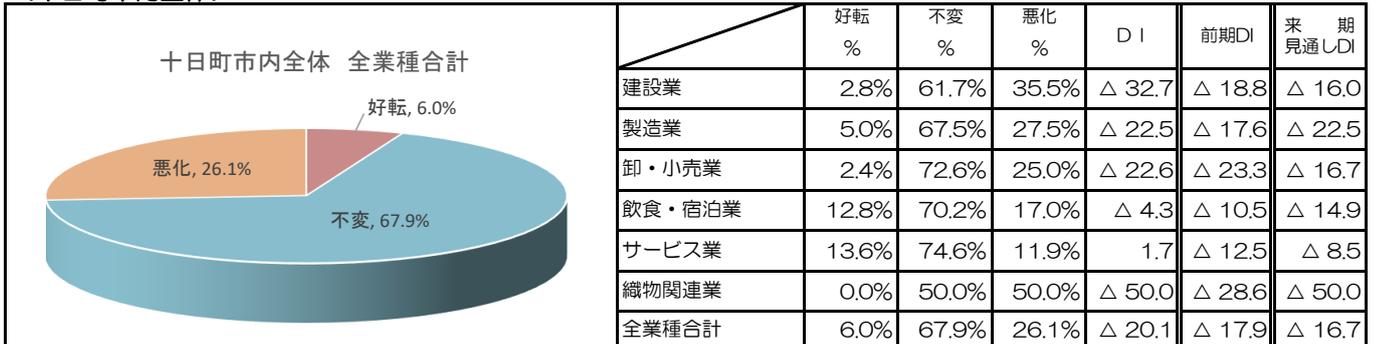


<コメント>会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値は25.5ポイントで、前回調査時よりも3.5ポイント減少している。業種別に見ると、飲食・宿泊業は横ばい、サービス業は上昇したが、その他の業種は減少している。来期見通しでは織物関連業が横ばいの予測となったが、その他の業種は低下予測であり、全業種DI値においても低下予測となっている。

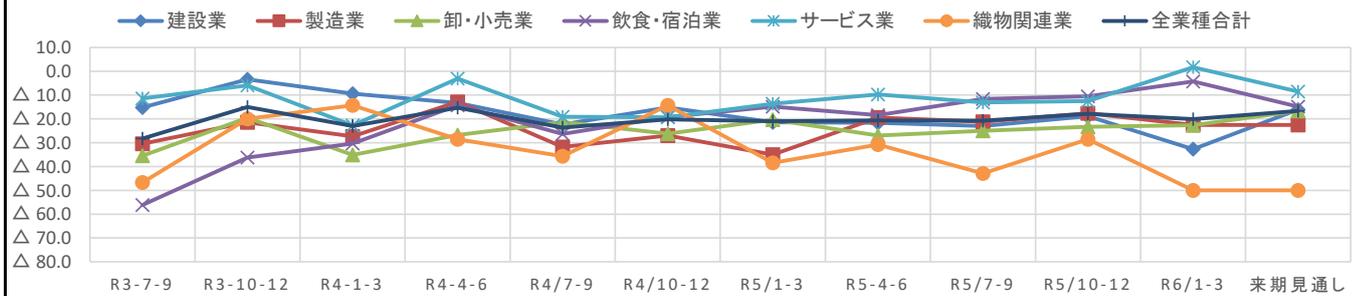
5. 資金繰りについて

- ・ 1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

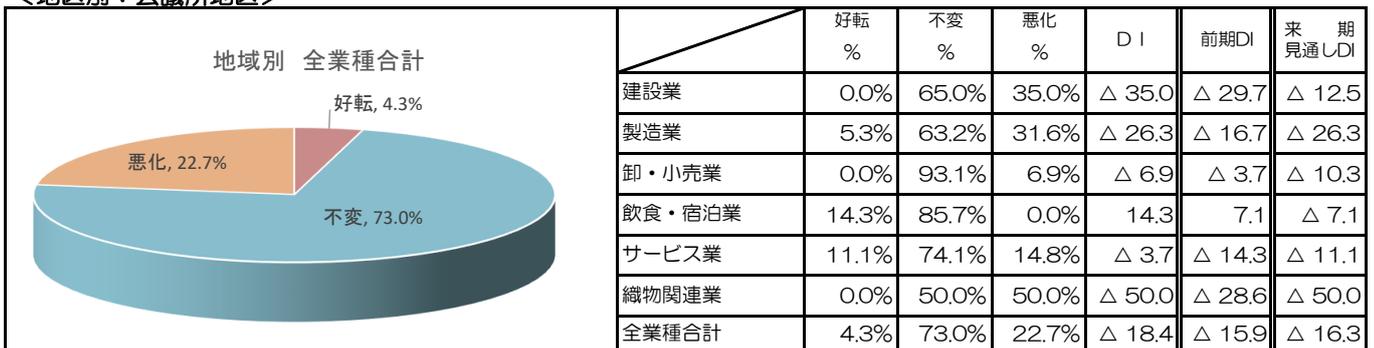


業種別資金繰りの推移(市内全体)

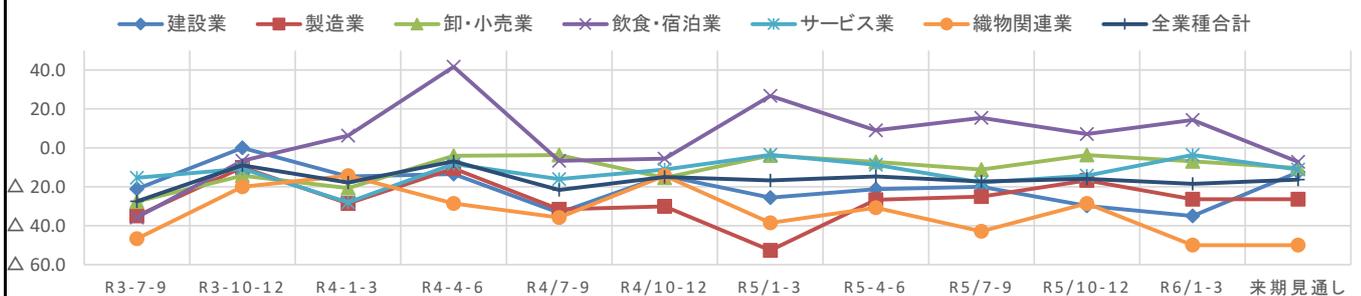


<コメント>十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△20.1ポイントで、前回調査時より2.2ポイント悪化している。建設業と製造業においてDI値が悪化した。来期見通しについては、サービス業と飲食・宿泊業の業種で悪化予測となり、全業種DI値は好転する見通しである。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

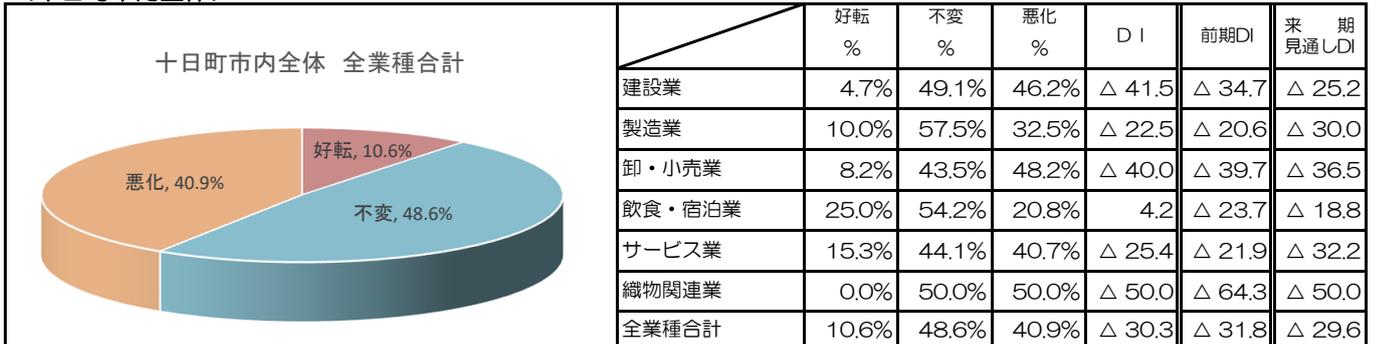


<コメント>会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△18.4ポイントで、前回調査時よりも2.5ポイント悪化となった。業種別に見ると、飲食・宿泊業とサービス業で好転となり、その他の業種は悪化した。来期見通しでは建設業が好転予測となり、製造業と織物関連業は横ばいの予測、その他の業種は悪化の見通しとなったが、全業種DI値においては好転の見通しである。

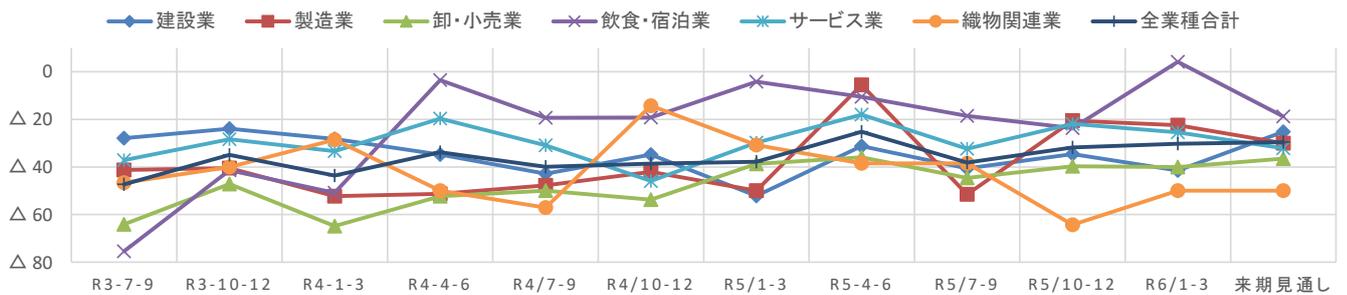
6. 景況判断について

- ・ 1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

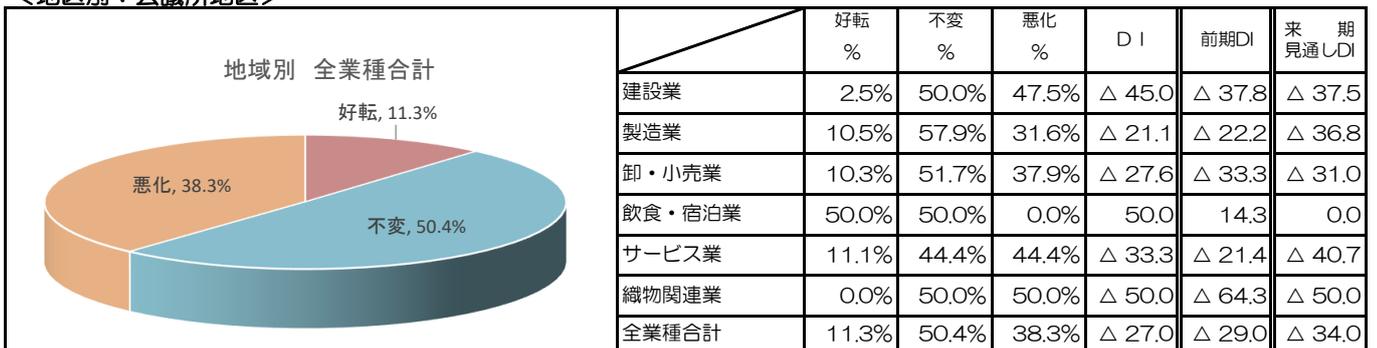


業種別景況判断の推移(市内全体)

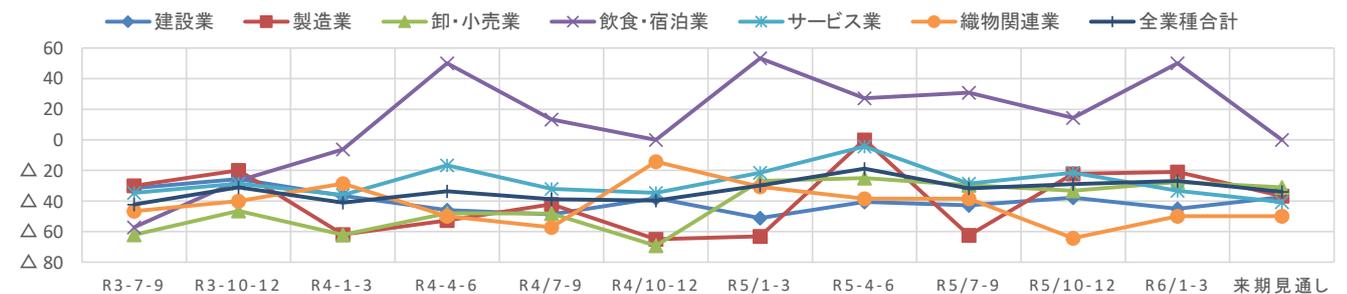


<コメント>十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△30.3ポイントで、前回調査時よりも1.5ポイント好転している。飲食・宿泊業では大幅な好転が見られた。来期見通しは、建設業と卸・小売業で好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しである。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

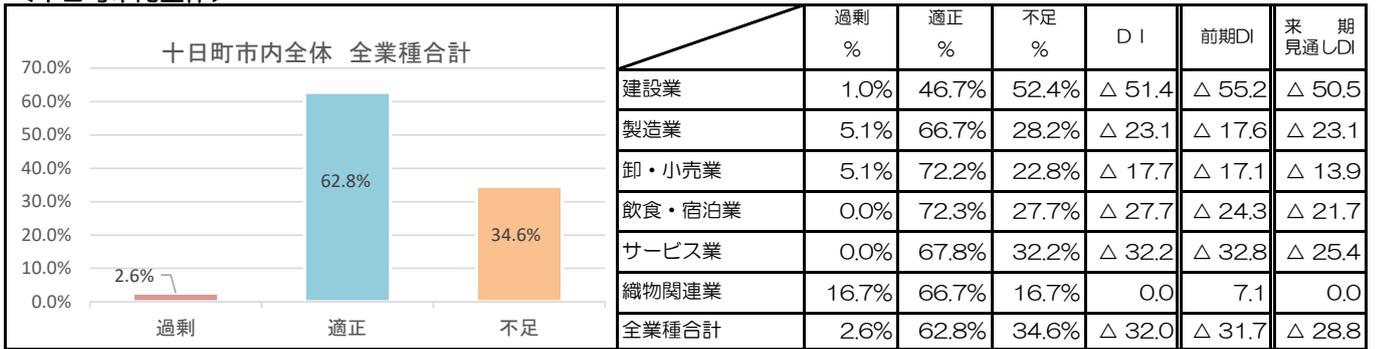


<コメント>会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△27.0ポイントで、前回調査時よりも2.0ポイント好転している。業種別に見ると、建設業とサービス業が悪化し、その他の業種は好転となった。来期見通しでは織物関連業が横ばい、建設業のみ好転予測ではあるがその他の業種は悪化の見通しとなっており、全業種DI値においても悪化の見通しである。

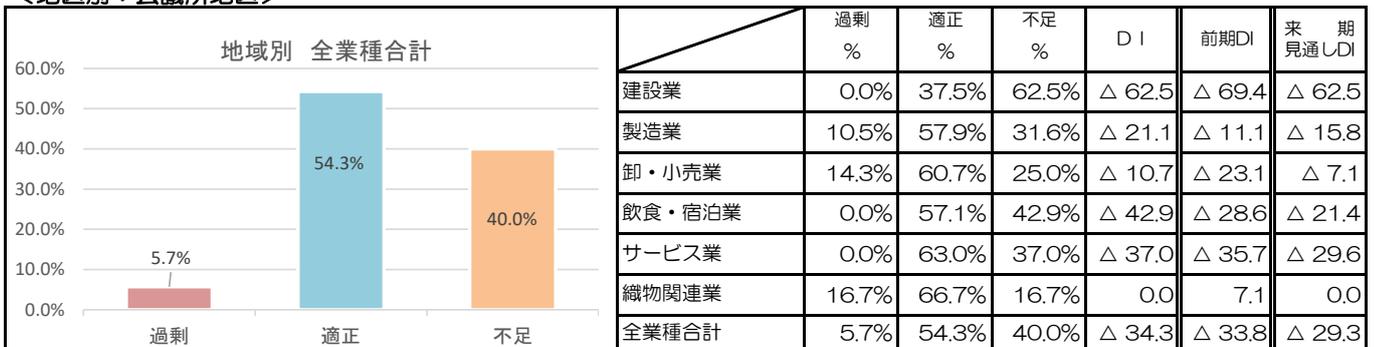
7. 従業員数について

- ・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



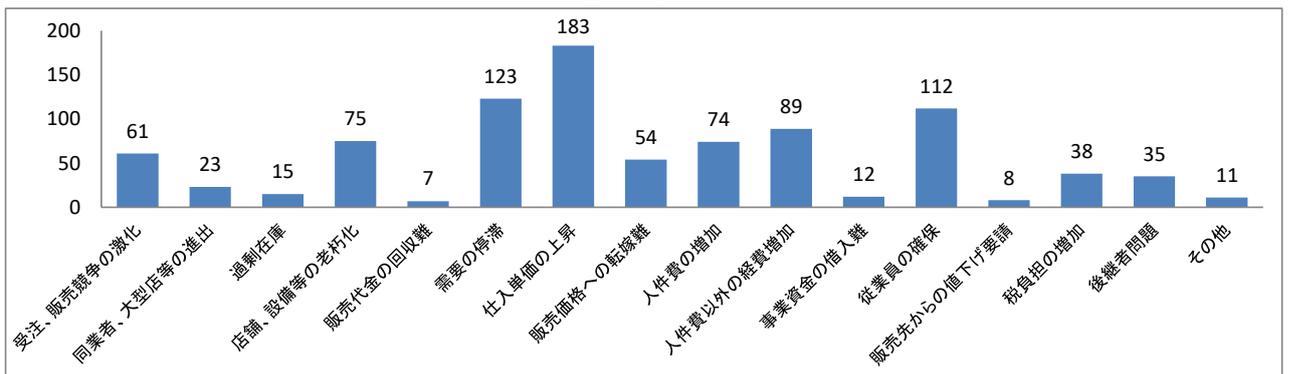
<地区別：会議所地区>



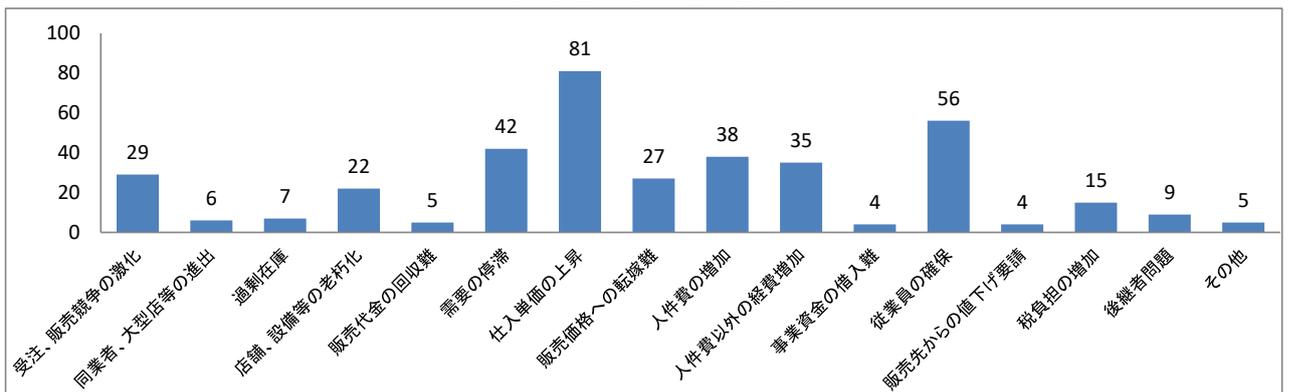
<コメント> 今期の従業員数(雇用動向)は、前回調査時より過剰回答が0.3%減少、適正回答が0.3%増加、不足回答は変化なしであった。会議所地区の状況は、全業種DI値が△34.3ポイントで前回とほぼ同水準となった。来期見通しでは建設業と織物関連業が横ばい、その他の業種は改善の見通しで、全業種DI値も改善が予測される。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：1月～3月

十日町市内全体 全業種合計



十日町商工会議所地域 全業種合計



<コメント> 今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「従業員の確保」となり、前回調査と上位3項目に変化はなかった。会議所地区の経営上の問題は、前回調査時と同様1位「仕入単価の上昇」、2位「従業員の確保」、3位「需要の停滞」となった。

9. 地区の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

【建設業】

今期の建設業の状況は、従業員数を除くすべての項目で悪化となった。来期見通しにおいては、販売単価が悪化予測、従業員数は横ばいとなっているが、その他は好転の見通しとなっている。従業員数においては改善の兆しが見られるものの、経営上の問題点として、「従業員の確保」が最も多く、つづいて「仕入単価の上昇」「需要の停滞」の順に多く回答されている。

【製造業】

今期の製造業の状況は、売上と景況判断が好転し、その他は悪化となった。来期見通しにおいては、売上、販売(客)単価、景況判断は悪化予測となり、その他は好転の予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「人件費の増加」「販売価格への転嫁難」が多く回答されている。

【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は、売上と販売(客)単価、資金繰りが悪化し、その他の項目は好転した。来期見通しにおいては仕入単価と従業員数が好転予測だが、その他は悪化の予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」「店舗、設備等の老朽化」の順に多く回答されている。

【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、販売(客)単価は横ばい、従業員数は悪化したが、その他の項目は好転となり、前回調査ではすべての回答が仕入単価上昇となっていたが、今回の調査ではわずかに改善した。来期見通しにおいては従業員数は好転予測、仕入単価は横ばいの予測だが、その他の項目は悪化の見通しとなっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「人件費以外の経費増加」が多く回答されている。

【サービス業】

今期のサービス業の状況は、売上、採算、景況判断、従業員数が悪化となり、その他の項目は好転した。来期見通しにおいては仕入単価と従業員数が好転予測、採算は横ばいの予測で、その他は悪化の見通しとなっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「従業員の確保」が多く回答されている。

【織物関連業】

今期の織物関連業の状況は、採算が横ばい、仕入単価と景況判断好転し、その他の項目は悪化した。来期においては、全ての項目で横ばいの見通しである。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」が多く回答されている。